



芽室町落花生生産組合が挑戦する焙煎用品種のナカテユタカ

落花生

[PEANUT]

加工品による 水平展開も

平均気温の上昇などから道内で生産量が増えているサツマイモとニンニク、落花生。道農政部は2022年度に、これらを「新顔作物」として選定し、生産拡大や認知度向上の取り組みを進めている。

落花生は、JAめむる青年部の有志らによる「芽室町落花生生産組合」が挑戦を続ける。今季は焙煎(ばいせん)用「ナカテユタカ」と、ゆ

で落花生用「郷の香(さとのか)」の2品種を選択し、1戸の8畝で栽培した。

北海道は本場の千葉より気温が低いため、マルチシートと被覆資材で積算温度を補うのが芽室流。収穫は9月23日に始め、中国製の機械で効率化を図った。ピーナツタワーやドレッシングなど、加工品による水平展開にも余念がない。

さつまいも

[SWEET POTATO]

ニンニク

[GARLIC]

安定供給へ試行重ねる

サツマイモはJA木野が熱心に取り組む。音更町下士幌北の特産物センターで温泉熱を活用した独自の育苗・試験栽培を進め、普及や安定供給に向けた試行錯誤を続けている。

2024年は、紅はるかや雪こまち、シルクスイートの3品種を0.8畝で栽培。9月の収穫には「マルチデガー」と呼ばれる大型収穫機を取り入れ、作業負担を軽減できるか試行

した。

ニンニクは、JA十勝清水町が管内のパイオニアだ。09年から栽培に乗り出し、今季は町内の13戸20畝のほか、連携する池田と足寄、本別の3町の農家12戸3畝で作付けする。

同JAではウイルスに感染していない種を生産し、手掛ける農家へ提供することで、高品質なニンニクを安定出荷できる体制を構築した。



2009年から取り組むJA十勝清水のニンニク生産と、23年から試行するJA木野のサツマイモ栽培

フレックスストール

特別なPVC素材で、丈夫でしなやか、折れたり曲がったりは一切せず、牛がストールに触れても怪我が無い！



フレックスフィード

牛舎内給餌で特許を取得した革命的なシステム。牛達は頭の上の障害物もなくシステムからの圧力を少しも感じません



Cow-Welfare

フレックスストール・フレックスフィード

牛床での事故が激減！乳量の増加に貢献！牛のストレス軽減！

お問合せ

東邦貿易株式会社



東京都目黒区中根 2-13-10 TEL 03-3723-7181